

# 清中通信

帯広市立清川中学校 校便り 第10号

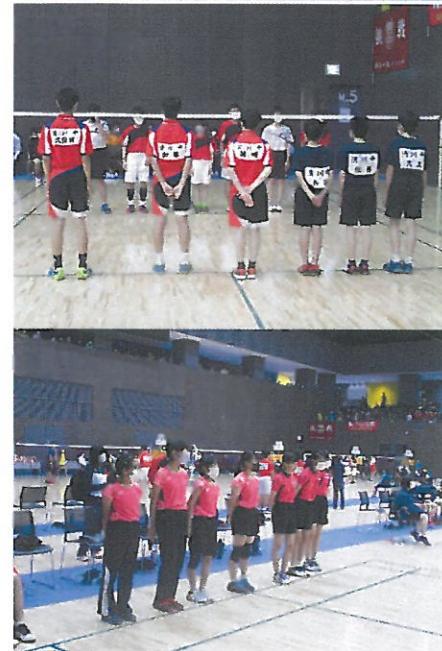
令和2年10月21日発行

校長 卵月 道彦

学校テーマ Face Together 共にたちむかおう



## 全十勝中体連秋季大会頑張りました



10月17日(土)～18日(日)、全十勝中体連秋季大会(バドミントン・バレーボール)が行われました。バドミントン大会は今回も「よつ葉アリーナ十勝」で男女の団体戦・個人戦が行われました。男子は団体戦の1回戦で御影中と対戦し、気持ちのこもった戦いで挑みましたが、惜しくも1-2で敗れました。個人戦も積極的に強い気持ちをもって戦う姿勢がみられました。シングルスの絢哉くん、ダブルスの光世くん・煌馬くんのペアがベスト32進出となりました。女子は団体戦の1回戦で宿敵の上美生中との対戦となりました。これまで何度も何度となく対戦してきましたが、今回は2-1で見事に勝利を収めることができました。続く2回戦は共栄中に0-3で敗れましたが、価値ある1勝をあげました。個人戦はシングルスに3名、ダブルスに3組出場しました。ダブルスの心夏さん・絢菜さん、シングルスの友里さんがベスト32進出、同じくシングルスに出場した結楽里さんがベスト16進出となりました。バドミントン部は男女ともに9月に行われた市内大会の経験を活かし、レベルアップされた試合運びが随所にみられたと思います。バレーボール部はこの大会も第七中学校との合同チームでの出場ですが、本校の1年生5名は七中の2年生とともにほぼフル出場で頑張りました。初戦はシードされ、2回戦からの出場となり、初戦は帯五中との対戦になりました。実力を発揮し、危なげなく2-0で勝利を収め、準々決勝で強豪の下音更中との対戦となりました。下音更中は多彩な攻撃や安定したレシーブなど、レベルの高いプレーをしていましたが、第七清川連合も食い下がり、2セット目は24-20まで追い詰めました。結果的には0-2で敗れ、準決勝進出とはなりませんでしたが、立派なベスト8進出だと思います。バドミントン部、バレーボール部とともに、今年度の中体連大会はすべて終わりましたが、冬期間に「協会主催」の大会が行われます。これからまた、この大会での経験を活かし、練習に打ち込んでほしいと思います。



## 帯広市中学校英語スピーチコンテスト



レインボーホール

10月20日(火)、令和2年度帯広市中学校英語スピーチコンテストがとかちプラザ、レインボーホールで行われ、帯広市内の中学生21名が参加しました。本校からは3年生の獅童くんと碧音さんが出場し、二人とも堂々と立派なスピーチを披露してくれました。獅童くんは、「将来の夢」というテーマで、将来の夢が酪農家になることで、自分が実際に酪農体験をして、仕事は大変ですが、農業や酪農がとても大事な産業であると感じたこと、また、酪農業に携わる人々が減少していることに危機感を抱き、自分自身が酪農家になって人々を幸せにしたいと感じていることなどをスピーチしてくれました。碧音さんは「私のふるさと、帯広」をテーマに、帯広にはスイーツショップがたくさんあり、実際にお店で興味のある「お菓子作り体験」を行ったこと、帯広の主産業である農業について、父が栽培しているとても美味しい野菜のこと、帯広氷祭りに祖父が参加し、素敵なお像を作たくさん作り多くのコンテストで優勝していること、自分自身が競技している「カーリング」について帯広を代表するチームになりたいと頑張っていることなどをスピーチしてくれました。二人とも本当に立派なスピーチでした。



## いよいよ収穫の秋を迎えました



本校の学校農園活動も順調に進み、いよいよ収穫作業も大詰めを迎えてます。10月13日(火)には、全校生徒で、「じゃがいも」「かぼちゃ」の収穫を行いました。「じゃがいも」は今年も豊作で大粒のものがたくさん収穫できました。

19日(月)には1年生が、20日(火)は2年生が、ハウスで育てた「さつまいも」の収穫を行いました。「さつまいも」は昨年、なかなか育たなかった作物であり、今年はハウスを使用して育てることにした経緯もあります。早速掘ってみると、最初は昨年並みの何ともさみしい「さつまいも」が出てきましたが、掘り続けていくと立派な「さつまいも」も出てきました。品種によって大きく育ったものと育たなかったものがあるらしいです。いずれにしても、今年は立派な「さつまいも」も収穫することができ、大満足の収穫となりました。今週23日(金)に「収穫祭」を実施し、今年収穫した作物を利用して調理する活動を行います。当日がとても楽しみですね。なお、今年度は残念ながら、保護者の皆様にご案内することは自粛させていただくことにしました。何卒ご了承願います。

